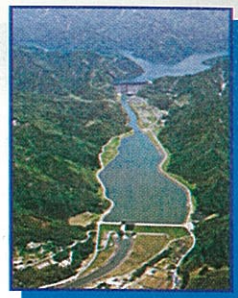


# 南会津のうりんニュース

第28号

平成12年9月11日発行  
福島県南会津農林事務所



## 今月のトピック

### 「緑のボランティアinTATEIWA」が開催されました

8月19日、舘岩村大字宮里の「大宮少年自然の家」において、「緑のボランティアinTATEIWA」が開催されました。これは自然の家で毎年、埼玉県大宮市の中学生を対象に林業体験を行い、森林林業について体験をとおして理解してもらうことを目的に行っているものです。

今年は、同施設内の研修室で森林林業部大西副部长から「森の働きと林業」についての講話の後、自然の家の「体験の森」で約3時間下草刈り・除伐等の作業を行いました。

残暑の中、みんなで汗だくになりながらの林業作業体験となりましたが、閉講式では43名の生徒の代表から「森林を守る仕事がかんにも厳しいものであることと、森林の大切さがよくわかった」という感想が述べられました。(森林林業部)



下草刈りなどの体験で、森林を学びました

### 平成13年度トマト栽培予定者の視察研修会開催

来年度、新たにトマトの栽培を考えている東部地区の方を対象とした視察研修会が、南会津広域農業圏確立推進協議会主催のもと実施されました。

当日は、田島町から4名、下郷町から3名の栽培予定者と各関係者が出席し、南郷トマト選果場や、南郷トマト生産者7名のハウスを訪れました。

選果場では、JA会津みなみの斎藤西部営農センター長より平成12年度の南郷トマト生産概況についての説明をうけた後、オートメーション化された選果場の作業を見学しました。

また、栗城南郷トマト生産組合長をはじめとした各生産者のハウスでは、トマト生産のおもしろさや

苦労、栽培管理方法など現場の声を直接聞くことができました。参加した栽培予定者は、高い販売額や新しい栽培方法などの説明に目を輝かせて聞き入り、早くも来年度のトマト生産のために「他の作物で使用した資材をうまく利用して栽培できないか」などの質問が飛びかかっていました。

(地域農林企画室)



新しい栽培方法の説明を受ける栽培予定者

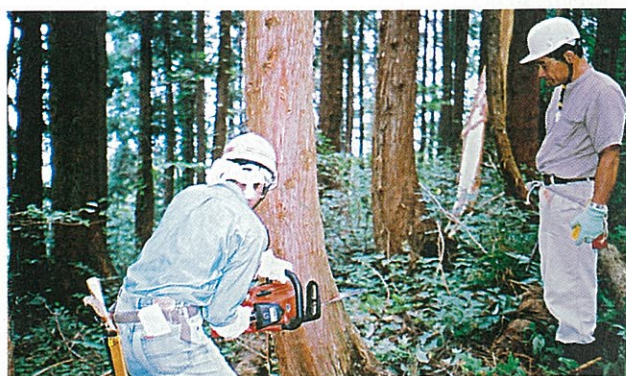
### 林業教室(基礎講座)が開催されました

8月30日、南郷村において平成12年度の林業教室(基礎講座・第2回)が開催されました。今回は「森林病害虫・林業機械と安全な作業について」を課題として実施されました。

午前中は役場にて、農林事務所職員から課題についての講義を受けました。午後は現場研修で村有林を使用して、県林業指導普及協力員の月田さん(南郷村)の指導により林業機械と安全な作業について、主にチェーンソーを利用した間伐木の伐採作業をとおして研修しました。3名の教室生は、チェーンソーを持つ手も真剣に研修に励んでいました。

次回の教室は10月に行われる予定です。

(森林林業部)



チェーンソーを使った伐採作業研修

## 日本のふるさと原風景「前沢曲家」

館岩村農林課

雪深い当地方では、馬の飼育場を母屋にL字形に連ねた中門造りの民家を曲家と呼んで、かつてはどこの集落でも見ることができました。しかし、生活様式の変化や、茅葺き屋根の保存の困難さでその姿も年々減少してしまいました。

館岩村では、環境美化条例を昭和60年に制定し歴史的要因による固有な景観としての曲家集落を保存するため、茅葺き屋根の維持管理や景観の保持のために補助金を交付しております。

特に、前沢集落は、明治40年に全戸が消失する大火があり、各戸が同一の大工集団により建築されたため、集落全体が整った統一的な景観美をかもし出しています。

この集落に、花しょうぶ園を整備したり、民家を移築し曲家そのものと雪国・農村生活文化の用具等を展示した資料館を整備して、一帯を「前沢ふるさと公園」として、年間1万人以上の観光客が訪れるようになりました。

また、標高600mから900mの山間高冷地で栽培されている良質の“そば”を、特産品として付加価値を高め、消費拡大と農家所得の向上を図るため、前沢ふるさと公園駐車場に隣接して、平成8年度に山村振興等農林漁業特別対策事業の農産物処理加工施設整備事業を導入し、茅葺き屋根の曲家を活用した「そば処曲家」を整備しました。

この施設は、大正時代に建築された村内の木造2階建て農家住宅1棟375㎡を移築し、出来るだけ既存の部材を使用して当時の曲家の様子を忠実に再現したもので、総事業費1億円余りを投じて、たていわの風味豊かな石臼挽きのそば粉を使用した「そば加工販売施設」と「そば処」を整備し、館岩村農業公社によって運営されております。

この施設で加工されたそばは、村内の宿泊施設や宅配にて県内外にも広く提供されております。そば処曲家も4月から年末年始までの営業で、年間1万5千人以上の入り込みがあり、総売上げ2千百万円と年々増加しており館岩を訪れる人々に好評を得ております。

館岩にお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



### お知らせ①

#### 「森林づくりボランティア・inうつくしま」参加者募集！

森林は、私たちの生活に欠かすことのできない様々な働きをしています。その様な緑豊かな森林を育てるためには、手入れが必要です。しかし、近年この手入れをする人が不足しています。

県では猪苗代町の昭和の森で9月17日に開催される「第24回全国育樹祭」を契機として「森林づくりボランティア・inうつくしま」を県内11箇所で開催しています。

南会津地方は阿賀野川の最上流部です。その様な地域の森林づくり体験や河川とのふれあいにより、森林の手入れの重要性を理解してもらうため、当管内では下記のとおり実施します。

皆さんの参加をお待ちしております。

(森林林業部)

記

- 1 開催日 平成12年10月15日(日)
- 2 開催場所 下郷町観音沼森林公園周辺
- 3 内容 林業体験(枝打・除伐)、イワナ放流受付(9:30～ 終了15:00)
- 4 申込方法 氏名・住所・年齢・職業・勤務先名・生年月日・電話番号(FAX番号)を記入し、ハガキまたはFAXでお送り下さい。(電話でも可)
- 5 申込締切 9月29日(金) (定員50名となり次第締め切り)
- 6 申し込み・問い合わせ先  
南会津農林事務所 森林林業部 経営指導係  
〒967-0004 田島町大字田島字根小屋甲4277-1 TEL 62-5373 FAX62-5387

## 特集!

## 農地や土地改良施設の多面的機能は今!!

イベント「うつくしま・ふるさと水と土再発見」開催される  
～県と下郷町が共同開催～

8月4日から5日までの2日間、県農村振興課の主催、下郷町、同教育委員会、横浜市保土ヶ谷区等の共催のもと、当事務所管内の下郷町「ふれあいセンター」や「なかやま花の郷公園」「大川ふるさと公園」を会場に『うつくしま・ふるさと水と土再発見』が開催され、横浜市保土ヶ谷区から小学4年生や父兄など60名に加えて、下郷町内の小学4年生の約70名が参加しました。

本イベントは、「中山間ふるさと水と土保全対策事業」の一環として、毎年、開催場所を移して実施されているもので、農地や土地改良施設等が果たす役割や、国土・環境保全等の多面的機能を認識してもらい、かけがえのないふるさと、水と土を守る活動の重要性に関心を持ってもらうため開催しているものです。

また今回は、「大自然とのふれあいを通して、海の子・山の子が交流し、やさしさ、たくましさなど、少年期の感性と連帯意識を培う」という目的で、下郷町と横浜市保土ヶ谷区が毎年開催場所を変更して行っている「第9回海の子山の子アドベンチャー交流事業」との共同開催となりました。（交流事業については3日間開催されました）

1日目は、海の子（保土ヶ谷区）が下郷町の養鱒公園に集合し、昼食後、町内の名勝地である「塔のへつり」や宿場町の面影を今にとどめる「大内宿」などを見学しました。歓迎会、夕食を終えた後、本日の宿舎である寄宿舎まで、約2.5kmをナイトハイクして1日目の日程を終了しました。

2日目は、朝食後、「なかやま花の郷公園」に移動し、清流が流れる水路に放流されたイワナやニジマスなどの魚つかみに挑戦しました。生きている魚を手づかみするのは、どの子始めてのようで、悪戦苦闘していましたが、コツをつかんだ子は何匹も捕まえていました。昼食は、山の子と合流し、先ほど捕まえたイワナなどを竹ぐしにさし、即席のカマドで塩焼きに挑戦しました。地元の中山部落婦人会の皆さんが、朝早くから準備してくれた「豚汁」とともに、美味しそうに食べていました。

昼食後、ふるさと福島塾専任アドバイザーである横田泰助さん（前南会津農林事務所長）より、南会津地方の自然や農業についての講義に耳をかたむけました。



講義後、自然観察会や自然マップ作成をなかやま花の郷公園周辺で行う予定でしたが、カミナリを伴う突然の豪雨により、残念ながら中止となってしまいました。

最終日の3日目には、下郷町と保土ヶ谷区の交流事業として、会津鉄道のトロッコ列車で会津若松市へ移動し、市内観光などを行い、全日程が無事終了しました。参加した子供たちにとって海や山と生い立ちは違っても、かけがえのないふるさと、水と土を守ることの重要性に理解を深めた3日間だと思えます。

今後、開催場所は変わっても、多くの人々の参加により、このような交流が活発になることを期待しています。

（農村整備部）



## ～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
①農産加工研修 : 「ジュース加工基礎」	9月13日(水)	農業短期大学校
②インストラクター養成研修会 : 「インストラクターの話し方」	9月19日(火)	田島建設会館
③農産加工研修 : 「パン加工基礎」	10月13日(金)	農業短期大学校
④農産加工研修 : 「漬物加工基礎」	10月31日(火)	農業短期大学校

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所

TEL 0241-62-5866

南会津地域農業改良普及センター

TEL 0241-62-5262

## 森林・林業の新たな動き

今月17日、第24回全国育樹祭が猪苗代町を中心に開催されます。今年は育樹祭を契機に、本県の豊かな森林・林業の活性化などについて考える様々な機会が計画されています。

南会津地方は、神奈川県とほぼ同じ面積の約234千haと広大な地域を有し、その93%にあたる約216千haが森林です。その内、スギ、カラマツ等の人工林が森林面積の約20%、コナラ、ブナ等の天然林が約80%を占めています。

これらの森林に対し、近年、木材や山菜等の林産物の供給と併せて、ブナ等の原生的な天然林をはじめとする自然環境の保全や自然体験の場などの総合的な利用に対する要請が高まっています。また、当地方は豊富な水量を有する阿賀野川の最上流地域に位置し、その水源地域としての森林の重要性も高まっています。このように当地方の森林は「緑と水の源泉地域」にふさわしい立地条件を有しています。

一方、近年の広葉樹枯渇や外材攻勢による国産材の不振などから、広葉樹製材を主体とした当地方の木材産業は苦境に立たされています。また、木材価格の低迷、林業就業者の減少、高齢化の進行等により、林業経営が厳しくなっており、森林そのものの適正な管理が十分に行われない状況にあります。

昨年、田島町の製材、木工会社4社で作る、林業で地域おこしに取り組むグループ、南会津公房「き」の生産した木工品が、東京の百貨店・高島屋にお目見えしました。木工品は間伐材等を利用した田島町産の積み木等の木製がん具であり、1品5千円から2万円ほどで、まずまずの売れ行きということです。

同時に同百貨店は売上金の一部を南会津地方の植林や育林などの森林保護の費用に充てる方針を打ち出しました。地元としても、その資金を「南会津地方緑化推進委員会」で受入れるよう検討しています。

また、資金を還元するだけでなく、購入者による植樹、木工体験ツアーを組むなどの産地と交流する企画の検討もされています。

この動きが、木材産業全体の活性化につながるか未知数ですが、林業の活性化と都市と農山村の交流につながる取り組みの一つの試みとして期待されます。

所長 中村 紘夫

### お知らせ②

## 「健全な食生活料理コンクール」参加者募集！

生活習慣病の予防のための食習慣は子供の頃から身につけていかなければなりません。「子供たちに食べさせたい料理」をテーマに県産品を使ったオリジナル料理を募集します。

- ・ **日程** 応募締め切り 平成12年 9月29日(金)  
第2次審査(試食審査)・表彰式 平成12年10月22日(日)  
場所：福島県産業交流館(ビックパレットふくしま)

#### ・募集の条件

- 1 「子供たちに食べさせたい料理」というテーマに沿った県産品を使ったオリジナル料理であること。
- 2 6人分の材料費がおおむね3,000円以内であること。
- 3 調理時間が30分以内であること。(下ごしらえを除く)

#### ・応募方法

応募用紙(下記お問い合わせ先にあります)に必要事項を記載の上、料理の写真を貼付して応募してください。

なお、応募に係る費用については、応募者の負担とします。

#### ・お問い合わせ先

福島県農林企画室うつくしま未来博担当者(TEL 024-521-7317 FAX024-521-7944)

または南会津農林事務所地域農林企画室、南会津地域農業改良普及センターまで。

〒967-0004 田島町大字田島字根小屋甲4277-1 TEL 62-5373 FAX62-5387

問い合わせ

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349

E-mail m-nourin@akina.ne.jp

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

田子倉ダム・只見ダム

(只見町)



古紙配合率50%再生紙を使用しています

この広報紙は古紙配合率50%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。

